

**製品名: P糖タンパク質1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16037**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	ABCB1
別名	p-pg;ABCB1; MDR1; PGY1; Multidrug resistance protein 1; ATP-binding cassette sub-family B member 1; P-glycoprotein 1; CD antigen CD243
遺伝子 ID	5243.0
SwissProt ID	P08183
免疫原	抗血清はヒト P 糖タンパク質 1 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 534-583

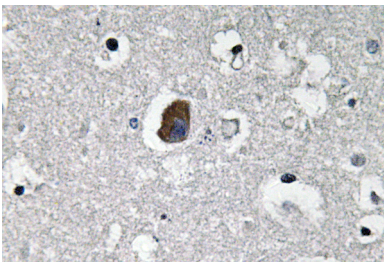
**背景**

この遺伝子によってコードされる膜関連タンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポータースーパーファミリーのメンバーです。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を越えて様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は MDR/TAP サブファミリーのメンバーです。MDR/TAP サブファミリーのメンバーは多剤耐性に関与しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、幅広い基質特異性を持つ、異物化合物用の ATP 依存性薬物排出ポンプです。多剤耐性細胞における薬物蓄積の減少に関与し、抗癌剤耐性の発現を媒介することがよくあります。このタンパク質は、血液脳関門のトランスポーターとしても機能します。 [RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性:  $ATP + H(2)O + \text{異物 (In)} = ADP + \text{リン酸} + \text{異物 (Out)}$  ,疾患: ABCB1 の遺伝子変異は、炎症性腸疾患 13 型 (IBD13) の感受性と関連している[MIM: 612244]。炎症性腸疾患は、慢性再発性腸炎を特徴とする。クローン病と潰瘍性大腸炎の表現型に細分される。クローン病は消化管のどの部分にも影響を及ぼす可能性があるが、最も一般的には末端回腸と結腸に影響を及ぼす。腸の炎症は壁全体に及ぶ不連続なものであり、肉芽腫を伴うことや、腸瘻や肛門瘻を伴うことがある。対照的に、潰瘍性大腸炎では、炎症は連続的で、直腸と結腸の粘膜層に限定される。瘻孔や肉芽腫は認められません。どちらの疾患も、皮膚、眼、または関節の腸管外炎症を伴います。クローン病と潰瘍性大腸炎は、一般的に自己免疫疾患に分類されます。 ,機能: 多剤耐性細胞における薬物蓄積の減少に関与するエネルギー依存性排出ポンプ。 ,オンライン情報: P 糖タンパク質エントリ、オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース、多型: 薬物治療に反応しない患者において、ABCB1 の遺伝的変異が役割を果たしている可能性があります。 ,類似性: ABC トランスポーターファミリーに属します。 ,類似性: ABC トランスポーターファミリーに属します。多剤耐性輸送体 (TC 3.A.1.201) サブファミリー。 ,類似性:2 つの ABC 膜貫通型 1 ドメインを含む。 ,類似性:2 つの ABC トランスポータードメインを含む。 ,組織特異性:肝臓、腎臓、小腸、脳で発現する。 ,

## 研究分野

ABC トランスポーター;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織における Mdr-1 抗体の免疫組織化学分析。